

花みずき



第18期 第1号

発行者代表 松本奈美

編集者 高橋典子

主 題 共にいてくださる主を信じて

*** 信仰と希望と愛 ***

主題聖句 それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残る。その中で最も大いなるものは、愛である。 コリントの信徒への手紙 一 13:13

巻頭言

天王寺教会牧師 永吉秀人 (常議員 教区女性会担当)



「愛の極意」

今期の女性会主題聖句は、コリントの信徒への手紙一・13章13節であり、愛の讃歌と呼ばれる御言葉のまとめの部分です。伝道者パウロがコリントの教会に宛てた手紙にしたためた言葉です。

愛については、相手が誰であろうと言わずもがな、人からあれこれ言われるまでもありません。たとえ信仰においてでさえ、安易に語れば安っぽいものとなってしまいます。なぜなら、キリストの十字架上の愛に見るように、逆説的な奥深いものであるのですから。にもかかわらず、あえて愛について語るならば、それは極めてチャレンジングなものとなるでしょう。愛の讃歌は、結婚式においてしばしば読まれる御言葉でもあります。私は率直に語ります。せっかく見つけた愛だからといって、守ろうとしてはなりません。愛は守るものではなく、育てるものだからです。さらに言います。二人で力を合わせようなどと難しいことをする必要はありません。愛は合わせるものではなく、分かち合うものだからです。愛は、それぞれの内にあるものではなく、相手との間に生まれる一つしかない親密な絆です。二つの愛を一つに合わせる作業は、人に能力を求めるがゆえに、人を選びます。二人の関係のみならず、教会という人の数が多い場合にはさらに高度な技術を要します。しかし、分かち合うことならば、人を選びません。いつでも、どこでも、誰とでも分かち合うことはできます。キリストの愛の極意です。信仰は人の内面の問題ではありません。信仰、希望、愛は、対象を必要とする出来事ですから、自分の内側で考えるのではなく、外側に出して、人との関係、神との関係の中で育てていくことがふさわしい。自分がどれほど神を信じ、希望をいだき、愛に溢れているかは問題ではありません。大切なのは、いかに神に信頼され、期待され、愛で包まれているかです。

18期役員です。よろしくお願いします。

ルーテル育ちですが、女性会はまだ新米です。それなのに役員とは！無力ですが、主に頼り皆様に祈って頂きながら、三年間楽しくやっていきたいと思っています。(広島教会)



会計:伊藤真理

連盟:柳井悦子

責任重きお役を頂き、健康を神様に祈りつつ、焦らず、一歩ずつ前進する気持ちを持って皆様のご協力を得ながら歩み中です。

(宇部教会)

女性会の事も分からず書記を担うことになりましたが、良き出会いの時間が与えられ、3年間に皆様とのつながりを大切に、主に見守られながら、祈りながら歩んでいきたいと思えます。(厚狭教会)



書記:高橋典子

会長:松本奈美

多くのお出合いや再会が楽しみです♪私たち役員が、目も耳も開かれて、み心に適って歩んでいきますよう、みなさま、どうぞお祈りに覚えてください。(神戸教会)

ひらきなおる
開木直氏による

「たいして役に立たない
宗教改革500年企画」



「マルティンとケーテ」(その①)

宗教改革の発端が、1517年10月31日のルターによる「95カ条の提題」発表であることは衆目の一致するところですが、彼が、自覚的に「宗教改革者」になったのはいつか、これにはいくつかの起点が考えられます。翌18年、アウグスブルクでの異端審問、19年にはライプツヒで教皇側の使者と討論、断絶が決定的となります。かなりやばいとは思ったでしょうが、まだ彼は、教会内改革者でした。20年、自説を撤回しなければ破門という「破門脅迫の大教勅」が発せられます。10月10日に彼が手にした時、撤回期限は60日、期限切れの12月10日にルターは衆人環視の中、勅書を焼き捨てます。この時「教会法」も共に火に投じます。ローマカトリック教会においては、教会法は神聖であり、勅書は絶対の権威ですから、これは彼の全面对決の意志表示でした。翌21年1月3日、教皇の「破門大教勅」発布。今度は世俗の神聖ローマ帝国が、この問題の処理のためヴォルムスで帝国議会を開きルターを召還、4月17日の議場で、有名な「我ここに立つ」と自説撤回を拒否した彼は、帝国アハト刑(法の保護の剥奪=実質死刑?)を宣告されます。恐らく、教会からの破門と世俗国家からの追放処分が決したこの頃が、「宗教改革者ルターの誕生」、及びその後の「我々がルーテル教会誕生」への発端になっていくのかと思われます。が、やっとここで本題の「マルティンとケーテ」です。もちろん、上記の歴史的な大事件は重要で、それらが起点であったのは間違いないのですが、私は、彼がもう後戻りできない、決定的な決断をしたのは、1525年6月13日、芳紀まさに26歳の元修道女カテリーナ・フォン・ボラとの結婚、ルター先生が妻に「マルティン」と呼ばれ、「ケーテ(カテリーナの愛称)」と呼ぶ伴侶を得た時、としたいのです。修道士から司祭となった彼の結婚、これは決定的な以前との決別、確固とした自覚的「宗教改革者」の誕生でした。(続く)

* 宗教改革の神学的な内容は、各教会の聖研やエンキリディオンなどで学ばれていることを前提としています。



下関教会宣教 100 周年記念礼拝 (下関・厚狭・宇部合同礼拝)

10月31日(土) 10:30～

下関教会は、10月31日に宣教100周年の記念礼拝、祝賀会、講演会を開きます。門司教会の講義所として始まった小さな群れが、100年の時を神様に守り、導かれての喜びの時です。この100年の間には、先の戦争による礼拝堂の焼失や、無牧状態など様々な困難を迎えました。しかしながら、その中でも信仰の火を絶えることなく、聖書のみ言葉によって力づけられ、多くの方々のお支えの中に在って宣教が守られました。そのような喜びも苦勞も分かち合う時が与えられたことを神様に感謝せずにはられません。当日は、10時30分から礼拝をいたします。下関教会で育てられた小泉基牧師(健軍・甲佐・長崎教会牧師)より説教のご奉仕をいただき、聖餐式をもって共に主の食卓に与ります。その後、祝賀会では立山総会議長、滝田西教区長、小泉小枝姉よりご挨拶をいただき、このために集ってくださった方々と交わりのひと時を分かち合いたいと考えています。祝賀会の後は、立山総会議長より宗教改革500周年に向けてのルーテル教会の取り組みについてご講演をいただき、15時に散会となります。多くの方々と喜びを分かち合い、お交わりのひと時を与えられればと心より願っています。しかしながら、同時に100年という記念日は通過点です。これからもこの下関の地で福音宣教に教会員一同励んでいきたいと考えています。皆様のお祈りに覚えていただければ幸いです。

牧師 竹田大地

下関教会宣教 100 周年記念コンサート

5月30日(土) 14:00～



2015年5月30日(土) 午後2時から、下関教会宣教100周年記念コンサートを開催しました。下関教会の聖歌隊が、2年余の練習を重ねての晴れ舞台でした。

友永次郎先生の指揮、梅光学院大学吹奏楽部の応援を得てシューベルト「ドイツミサ全曲」、ヘンデル「メサイヤ」からハレルヤコーラス、アーメンコーラスなどを歌いました。

平均年齢約64歳。出演は

男性、女性合わせて20名と厚狭教会から一人助っ人をお願いしました。梅光学院大学吹奏楽部の演奏、下関教会オルガニストの演奏もあり80余名が来場し熱演を聴いてくださいました。聖歌隊の出来はまだまだでしたが、皆で心を合わせて神様を讃美することのすばらしさを改めて感じました。練習も準備も大変でしたが、コンサート終了後のメンバーみんなのきらきらと輝く笑顔が印象的でした。機会があれば、また練習を重ねて歌えたらと思っています。

岡本隆子



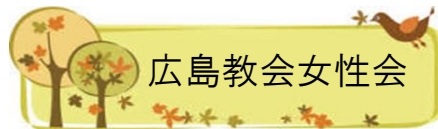


るうてるホーム Q&A

るうてるホーム後援会会長

水野登美子

★ホームはどうして生まれたの？ 現在の女性会連盟(旧婦人会連盟)が特に牧師未亡人の置かれていた状況を心に留め計画を発議しました。この計画が連盟から本教会に移され実施されていくことになります。特に関西地区の三姉妹(故辛木多恵姉、故大原玲子姉、近藤美知子姉)他、多くの方々の協力によって実現しました。★いつ建てられたのですか？ 創立は1965年。2013年10月には最新の設備を備えた新しいるうてるホームが完成しました。今年2015年に法人設立50周年を迎えます。年内には歴史をつづった「支えられつつ、支えて」という冊子が各教会に届きます。是非、関心をもってください。★どこにあるの？ 大阪と京都の間にある四條畷市にあります。大阪駅からJRで40分位です。★どんな施設なの？ 最初は高齢者施設として始まりました。ケアハウスという施設は65歳以上の自立した生活ができる方は、どの地域からも入居することができます。その後、ケアハウス利用者の方々の終いの棲み家となるべく、特別養護老人ホームが建築されました。今では地域の方の利用される通所事業所(デイサービス)、訪問系の事業も充実しています。新たな建物では障がいをお持ちの方々への支援も本格的に始まっています。★特徴は何ですか？ 入居者と職員によって、毎日礼拝が守られています。毎週の主日礼拝は、日曜日の午後に様々な教派の先生方のご協力を得て守られています。また建物の正面には白い十字架が輝き、その上には鐘楼があります。★大事にされていることは何ですか？ 「高齢者・障がい者を敬い、お仕えする」この理念を、入居しておられる方々や地域の方々に実践するべく、日々研鑽を重ねています。正面玄関にはステンドグラス「洗足のキリスト」が飾られています。毎日礼拝のある施設として、キリスト者だけでなく、一人一人を大切にする施設となるべく努力しています。西教区の皆さまも、ご自分の教会の施設として応援してください。また是非、入居をご検討ください。何よりも歓迎いたします。一度見に来て下さい！心からの感謝と共に皆様方の上に主の平安がありますように祈ります。



広島教会女性会



広島教会の女性会は、マリア会という名称で活動しています。毎月第3主日の礼拝後に、15～16名で例会を行っています。女性会連盟のしおりに沿って聖書を学び、誕生月の姉妹の愛唱賛美歌を共に歌って、お茶やお菓子をいただきながら近況報告等をいたします。奉仕としては、礼拝後の昼食作りを月2回行うほか、来客時や子どもキャンプの食事サービスを行います。結婚式のお手伝いもいたします。会費と奉仕で得られた収入は、連盟や教区女性会の支援先その他、ご縁のある神学生や作業所の支援、また国外支援としてはパレスチナの支援等も行ってきました。教会の中心的な働き手として活動しているマリア会ですが、高齢化により、これまで通りの活動をいつまで続けられるかわからない状況です。施設に入られる方、在宅で介護を受けられる方、そうした姉妹たちのことを思い祈り合いながら、無理せず楽しく活動が続けていく方策を今後模索していきたいと考えています。

会長 西田正恵



ルーク

豊中教会女性会



女性会の活動は月1回の例会が主であとは教会全体で動いています。

礼拝堂は1969年聖公会の石橋教会を譲り受け、牧師館は有名な建築家ヴォーリス氏の建物です。どちらも老朽していますが、修理しつつ使わせていただいています。近年、この歴史ある建物が豊中市から注目され、11月にコンサートが開かれ、抽選になるほどの参加希望者がおられます。この礼拝堂には、さまざまな方が神様によって集められています。お体に障がいをお持ちの方、心に悩みのある方、高齢者、働き盛りの方、時々CSの礼拝へ来る子どもたち、礼拝出席は20数名です。今年は豊中は兼牧で神戸教会の松本牧師が主管牧師を、また近隣教会の牧師先生にご協力いただき、恵まれた礼拝生活です。ただ、時折来られる新来者に牧師が常駐できない状態を残念には思いますが、必ず、神様がこの教会のために私たちの祈りを聞き入れてよい解決を与えて下さると信じ、さまざまな方々と肩を寄せ合い礼拝を守っています。礼拝の後のお茶の時、皆さんがリラックスしておしゃべりをされる時も神様がひとりひとりの心を解放し癒して下さっていると感じています。目に見える捧げものは少ないかも知れませんが、礼拝に参加される顔ぶれが変わらないのはみんなが礼拝で自分を捧げておられるのだと感謝です。

山川泰子



西条教会女性会



西条ルーテル教会は礼拝出席が20名ほどですが、200名規模の幼稚園が併設されています。教会には卒園生や子どもがルーテル幼稚園に通ったことがきっかけで受洗あるいは転入会した方もおられます。昨年のクリスマスには、半世紀以上前の幼稚園で先生をされた女性会会員前田直子姉のお姉様、秦寛子姉が90才で受洗、「わたくしは生まれかわりました」とさわやかに宣言して、私たちに勇気と喜びを与えて下さいました。女性会会員は、月に一度の会堂清掃、週に一度の聖書の学びの中心メンバーで、その後のお茶のひとときも楽しみにしています。また、幼稚園と共催のバザーでは、池田千恵子姉を中心に毎年お抹茶コーナーを受け持ち、好評をいただいております。今年は長く女性会会長でいらした鐘ヶ江節子姉が鐘ヶ江牧師引退にともなって去られましたが、あらたに室原牧師のおつれあいである紫音姉をお迎えしました。楽しく暖かい集まりであり続けたいと願っています。

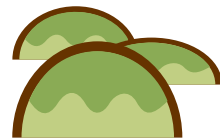
喜多村文子

きららキャンプをしました！ご支援有難うございます(厚狭教会)

テーマ 主の山に備えあり ～アブラハムの信仰～

アブラハムはその場所をヤーウエ・イルエ(主は備えてくださる)と、名付けた。そこで、人々は今日でも「主の山に備えあり(イエラニ)」と言っている。」

創世記22章14節



目 的 ○夏を学ぶ。 ○アブラハムの信仰を学ぶ。

期 日 平成 27 年 8 月 1 日(土)午前 10:00 厚狭教会に集合

～2 日(日)午後 2:00 厚狭教会にて解散 【送迎:小野田観光のジャンボタクシー】

場 所 竜王山公園オートキャンプ場 山陽小野田市梶が迫 841

8 月 1 日(土) 朝 10 時 ルーテル厚狭教会に集合 みんなで主日礼拝・昼食

14 時 ルーテル厚狭教会を出発 14 時 45 分 キャンプ場に到着

18 時 夕食とすいかわり 夜 7 時半 夕礼拝

夜 8 時から シャワーの時間

2 日(日) 5 時 起床 6 時 朝ごはん・後片付け

10 時 キャンプ場を出発

10 時 45 分 ルーテル厚狭教会に帰着・きららタイム

午後 2 時 家にかえりまーす



参加者

幼児 2 名 小学生 4 名

中学生 2 名 高校生 7 名

牧師・教会員・保護者 14 名



●一番楽しかったのは、「竜の滑り台」です。よく滑るし高いけど転ばないで行けました、小さい子達もけがをさせませんでした。

●バスで行きました、夕ご飯はカレーライス、野菜もありました。寝るのは姉妹と別々で良かったです。スイカは佐々木先生に貰いました。

●夕飯で、カレーがとても美味しかったです。竜の遊具でゴールまで行けた事が嬉しかった、寝るときは全然眠れませんでした。

●スイカ割でスイカに当たらなかったけど、高校生がスイカに当てた。

●今回のキャンプで、大変だった事と楽しかった事色々ありますが、一番印象に残ったのは、スイカ割で当たったことです。

●高校生が多くて、進行がスムーズでゆっくりできた。

テントを立てる時は、トラブルがあったが無事に終わった。

●キャンプ参加は6～7回目位でいつも通り、1つ違うのは高校生になってスタッフ感覚で参加し、小さい子の世話は大変だったが来年に注意することは「夜中に小さい子が寝ないでおしゃべりするので、テントは高校生と小学生のペアで寝させる」のが良いと思います。

●とても効率良く、楽しいキャンプで多分来年は来られないので、良い思い出になりました。イサク助かって良かったね！やった！！

●テント立てで部品が少し壊れたが、良い二日間だった。

子供達が共同制作した絵です





第17回 全国ルーテルこどもキャンプ



TNG ルーテルこどもキャンプでは、西暦奇数年は外国を取り上げ、言葉や文化、生活などの日本との違いを知ります。そして、それらの違いを超え、“みんな神さまのこども”であって命の尊さに違いのないことを学びます（偶数年は広島で平和について考えます）。

	8月6日(木)	8月7日(金)	8月8日(土)
7:00		おはよう！朝の礼拝	おはよう！朝の礼拝
9:00		野川公園へハイク!!	グループ発表
11:00		「トンガ王国体験 オリエンテーリング」	お別れパーティ／卒業式
14:30	集合！	トンガ王国調理実習！	派遣(はけん)の礼拝
15:00	はじまりの礼拝 グループタイム	おふろ	さよなら、またね！
18:00	おふろ、夜ごはん	夜ごはんは、トンガ料理	
19:00	「クイズ de トンガ」	トンガ人の話を聞こう！	
21:00	夜のおいのり	夜のおいのり	



*東教区:4名、東海教区:7名、西教区:4名、九州教区:11名

◆「大切なもの」 松山教会 東谷あゆみ: 子どもキャンプでハイキングや班の料理タイムなど、たくさんの思い出ができました。そしてみんなと大切なものは何かを考えました。今まで教会でいろんな人と出会って来て、私の大切なものは教会だと改めて感じました。これからもこうした活動を通して、さらに多くの人と出会っていきたいです。◆「こどもキャンプ」 京都教会 佐柄森広: トンガについて学び、トンガの料理を食べたりして、僕はトンガと日本の違いをちゃんと頭に入れてつながりをきずいていければいいなと思った。◆「子どもキャンプに行ってみて」 広島教会 前田陽菜子: 私は、初めての人には緊張して声が小さくなり、恥ずかしくなって話すのが嫌になってしまいます。楽しいキャンプにできるのかな？とものすごく不安でした。だけど、新幹線に乗った時、もう友達ができてみんなと仲良くなれました。春キャンも楽しみにしています。◆「こどもキャンプに参加して」 京都教会 落合小泉想: トンガの料理はアルミホイルの上にハウレンソウとコーンビーフをのせてココナッツミルクをかけて、ココナッツの葉の代わりにアルミホイルでとじたのを蒸して一人一個ずつ作りました。おいしくて、家で作りたかったです。トンガ人のゲストがトンガについて日本語で説明してくれて、日本語は上手ではなかったけど、分かりやすかったです。トンガの「人口は」10万人しかいないのに力を合わせて頑張っているのを見習うところもあると思いました。ぼくはこのキャンプで「みんな大切にしているものがある」ということを学びました。子どもキャンプが楽しかったので春キャンにも行きたいです。



東中国・四国地区勉強会

「改定式文の学び」

日時 9月23日(水) 10時30分～
場所 広島教会

シルバーウィーク最終日の9月23日 広島教会を会場に、松本義宣先生を講師として「礼拝式文とその改定」と題して、学びの時がもたれました。毎週の礼拝で、当たり前のように唱えたり歌っている式文ですが、改めて「礼拝とは」「式文とは」と深く考えさせられました。「なぜ、改定が必要か」という疑問点を歴史的経緯や様々な角度から、ユーモアを交えて説明され、現行式文と改定式文を対比しながら、順序の変化や新しい要素について、質問に答えながら、わかりやすく解説してくださいました。音楽に関しては、(個人的にはこちらのほうに関心があったのですが) ひとつの例として グローリアを皆で歌いました。まだ多くの課題や改善すべき点があるように思います。この改定式文は、以前同様、強制や制度化するものではなく、ある程度自由な用いられ方も許されるそうです。これからも、さらに多くの話し合いや研究がなされ、より良き式文が作られ、豊かに恵まれた礼拝に与ることができるよう祈ります。 広島教会 松本美郷

関西地区の一日研修会

「細川ガラシャと玉造教会」

日時 9月26日(土) 10時30分～
場所 カトリック玉造教会

9月26日(土)玉造カトリック教会(大阪市)にて開かれました。500人は収容できる大聖堂のたくさんの大きな窓にはステンドグラスがはめ込まれ、それらには、イエスさまの生誕と洗礼が、マリアはその生涯が描かれていました。神林宏和神父によって「細川ガラシャと玉造教会」とのテーマでお話をいただきましたが、細川ガラシャのゆかりの地と判明したのは土地が購入された明治23年から40年以上経てからだそうです。今の建物が献堂された1963年は丁度、第2バチカン公会議の最中(1961～'65)だったので、この会議で決められたことの1つである「会衆から遠くていかにも聖域をつくっていると思えるような位置にある聖卓を会衆側に近付けること」という事が間に合わず、古い構造での新築となってしまったこと、仕方ないので大理石のその聖卓はそのままに、現在はハリボテ?の聖卓を会衆の近くに置いている、とのことでした。その他の興味深い説明も含めて、礼拝堂の構造にも信仰の表れがあることも心に刻むことができました。 神戸教会 松本奈美

会長からの一言：花みずきについては発行の有無も含めていろいろなご意見をいただきました。最終的には役員会へ一任ということでしたので、西教区総会の重点の1つでもあった「つながり」のための大きな要素と捉え、“やはり”発行するに至りました。時期が時期だけに、連盟総大会の報告は恐れ入りますが「ひびき」や「報告書」でご確認くださいませ。今後とも引き続き、みなさまのお祈りとご協力をよろしくお願い申し上げます。 松本奈美

編集後記
記念すべき第一号
です。ワードの仕組
みも操作も分から
ず試行錯誤しなが
ら、やっとできた完
成品です。
ZC

コロ

今回役員が飼って
いる可愛いペット
達の写真を紹介し
ました。花みずき
掲載に、我が家の
可愛いペット達
を募集します。